

2022年2月9日(水)第二水曜祈祷会

申命記20:1~20

「敵との戦い」

■申命記について … 約束の地を目前に、モーセがイスラエルの民に告げた3つの決別の説教

■目には目を、歯には歯を(19章)

*12~26章には、約束の地で神の民が守るべき律法の詳細な掟と定めが示される

- ①逃れの町…隣人を意図せずに殺してしまった者を、復讐者から保護する町が設けられた。
- ②地境…神から託された相続地、先代の人々が定めた隣人との地境を移してはならない。
- ③証言…公正のため、すべて人が犯した罪過には、二人または三人の証言が求められた。
- ④「目には目を、歯には歯を」…いわゆる同害報復の原則。究極の精神は愛と赦し(Matt5:38,39)

■敵との戦い(20:1~20)

1. 敵との戦いに臨む際に(20:1~9)

*あなたの敵との戦いに勝利させてくださるのは主であることを確信しなさい

- ①「恐れてはならない」…エジプトの奴隷状態から救い出された神ご自身がともにおられるから。
- ②「祭司が進み出て」…祭司は民を励まし、主にある勝利を確信するよう勧めなければならない。
- ③「つかさたちは民に語りかけて」…戦いに参加することを免除される場合が取り上げられる。
- ④「軍の長たちが」…立てられた指導者の指揮に従って、神の約束に立つ者たちは前進する。

2. 町を包囲するとき(20:10~18)

*「聖絶」の命令は、特別の(限定された)目的を持つ場合にのみ適用される

- ①「降伏を勧めなさい」…攻略する町が遠く離れている町の場合は、まず降伏を勧めなさい。
- ②「あなたに降伏せず」…男をみな剣の刃で打ち、女、子ども、家畜などは戦利品としてよい。
- ③「聖絶しなければならない」…攻略する町がイスラエルの相続地にある場合は聖絶しなさい。
- ④「主の前に罪ある者と」…神の民が異邦の民の神々へと心移すことがないようにするため。

3. 攻略した町の木を切り倒してはならない…(20:19~20)

- ①「木を切り倒してはならない」…木に代表される自然に対して十分な配慮がなされている。
- ②「実を結ばないと分かっている」…自然保護と同時に、これを活用することも大事な使命。

まとめ:

- ①目の前の戦いがどんなに厳しく思えても、私たちにとって大事なことは何ですか。
- ②現代の祭司として召された私たちが、世に向かって伝えるメッセージは何ですか。

「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

(ヨハネの福音書16:33)